



特定非営利活動法人博心館 久里の農園で芋掘り 特集ページで紹介

市議会 だより

あなたとつなぐ からつ

2025年12月 第93号

P2	補正予算
P3～P4	議案質疑
P5～P6	委員会
P7～P13	一般質問
P14～P15	決算質疑
P16	特集ページ・編集後記

18億3,122万6千円を可決しました！

令和7年度一般会計予算総額 935 億 9,429 万 5 千円

新市誕生20周年記念事業

PICK UP

1. ひかりで祝う新市の輝き事業費
1,872万4千円
2. 出張おもちゃ美術館事業費
221万9千円
3. 「からつやきの軌跡展」開催費
185万8千円
4. ふるさと自慢学校給食費
698万9千円

【民生費】

- ・肥前町老人憩の家解体事業費
171万円
- ・肥前町福祉センター解体等事業費
1,962万4千円

【教育費】

- ・旧田野小学校プール解体事業費
893万3千円

【災害復旧費】

- ・令和7年災害農地・農業用施設復旧費
6,000万円
- ・令和7年災害林業施設復旧費
9,950万円

《特別会計》

- ・国民健康保険特別会計
4億7,341万1千円
- ・後期高齢者医療特別会計
367万6千円
- ・介護保険特別会計
1億8,095万6千円
- ・モーターボート競走事業会計
7億5,000万円



9月補正予算事業の
一部です！



9月定例会 議案質疑

提出された15件の議案に対して各会派から9月8・9・16日、15名の議員が質疑を行いました。



詳しくはこちら

PICK UP

1

一か月にわたるひかりの演出

新市誕生20周年記念

ひかりで祝う新市の輝き事業費

ひかりの演出を通じて、新市誕生20周年を祝うとともに、さらなる一体感の醸成を図る。

Q いつから記念事業を計画したのか。

A 本市は、令和8年1月1日で、七山を含めた、現在の唐津市となって20周年を迎えるにあたり、その節目としてふさわしい行事を昨年度から庁内で検討していた。

本年12月23日～翌年1月23日までを実施期間として、LEDイルミネーションを市内10か所に設置する。鏡山展望台と、市内6か所の公共施設のライトアップに加え、新年を迎えるタイミングで記念花火の打上げを予定。

Q 経済効果は。

A 今回の事業はひかりの演出を通じて、新市誕生20周年を市民の皆様とともに祝い、「唐津はひとつ」という一体感の醸成を図るものであり、経済効果を求める視点での制度設計はしていない。



PICK UP

2

遊びながら学ぶ木の魅力

新市誕生20周年記念

出張おもちゃ美術館事業費

木のおもちゃに触れて遊べるイベントを実施し、木材への親しみの醸成と森林や林業への理解促進を図る。

Q 事業の内容は。

A 木のボールプールや積み木など木製玩具での遊び、木工ワークショップの体験、森林・林業に関するパネル展示等。

Q 事業の目的は。

A こどもたちに木の温かみや魅力を五感で感じてもらい、木を暮らしに取り入れる「ウッドチェンジ」へとつなげる。

Q 参加料は。

A 参加料は無料。ワークショップも無料で体験できる。ただし20歳以上の方は、ボートレース場の入場料100円が必要。

Q 地元木材の活用と、地元企業との連携は。

A 国産・外国産木材を使用し、地元木材は未活用。今後、地元企業との連携については、森林組合とNPOとの協働を積極的に検討していく。



PICK UP

3

唐津焼の歴史を紹介

新市誕生20周年記念 「からつやきの軌跡展」開催費

令和7年度から8年度にかけ、唐津市の所蔵する唐津焼の紹介と「唐津焼」の歴史をたどる企画展を開催する。

Q 「所蔵品展」と「企画展」の支出の内訳は。

A 令和7年度は、パネル・ポスター製作費や輸送費等として185万8千円を計上。
令和8年度は、展示資料運搬費157万4千円、事務費54万1千円、看板設置費9万円、その他の経費を合わせ、計222万8千円について債務負担行為を設定する。

Q 展示を2回にわたって行う理由は。

A 「所蔵品展」では市内窯跡の発掘調査の資料や寄贈資料を活用した展示。「企画展」では、唐津焼の発祥から古唐津復興までの歴史の流れをひもとくなど、例年よりも展示内容のボリュームが大きくなり、開催期間を十分にとる必要があると考える。

Q 来場者数の目標値や事業成果についての検証・評価方法は。

A 「所蔵品展」で2千人、「企画展」で3千人を見込んでいる。来場者数及びアンケートによる満足度などを基に検証・評価を行い、一過性の展示で終わるのではなく、市民が楽しく郷土の歴史や文化に親しむ機会を創出し、郷土愛を育むことができるよう工夫する。



PICK UP

4

メインに佐賀牛を使用した学校給食を提供

新市誕生20周年記念 ふるさと自慢学校給食費

市立小中学校において唐津市の特産品を取り入れた特別な学校給食を提供する。

Q 事業の目的は。

A 唐津が誇るおいしい食材を味わってもらい、こどもの食に対する関心と、地域や生産者への理解を深め、郷土への愛着をより深めてもらう。

Q 献立はどうか。

A 給食の献立を作成している栄養教諭などと協議し、調理の工程や栄養バランスなどを考慮し検討中。主菜は、すき焼き、肉炒め、牛丼など、デザートは、唐津産の果物で、みかんを予定している。

Q 予算は。

A 698万9千円を計上。これに加え、JAからつ肥育牛部会から100万円相当の佐賀牛を無償で提供していただける。



総務教育委員会

◎宮本 悦子 ○岡部 高広 大西 康之 古賀 博文 松本 増浩 榎崎 三千夫 田中 路子

◎旧田野小学校プール解体事業費

Q 教育委員会所管のプール解体などに伴う周辺家屋調査が11か所。近接している福祉こども部所管の肥前町老人憩の家と肥前町福祉センター分も、一括発注との答弁であった。解体設計も一括発注となるのか。

A 一括発注と考えている。

Q 所管が違う解体工事を合算できるのか。

A 所管する部分ごとに設計し、それを合算し、入札して、実際の支出は教育委員会のプール設計分で按分して支出する。

Q 工事は別発注になるのか。

A 一括発注になると思う。

Q 機会均等の考えにより別発注のほうが、受注業者が増える。解体費も工期もわからないのに方針のみを決めていいのか。

A そのあたりも考慮し検討する。

《現地調査》

・旧田野小学校プール(肥前町田野)



旧田野小学校プール(肥前町田野)

産業経済委員会

◎山下 壽次 ○久保 美樹 野田 宗作 甲斐田 晴子 中山 亘 水竹 道夫 伊藤 一之

◎ふるさと会館管理費

Q 当初予算から減額された理由は。

A 新唐津市民会館(仮称)の工期が1年延長となったため、解体設計業務と不動産鑑定業務について令和7年度に実施する必要がなくなった。

◎農林水産施設災害復旧費

Q 近年の異常気象に対応するため、復旧工事における強靱化が必要では。

A 林道や農地等の復旧工事は、基本的に原形復旧となるが、今後の対応を研究していきたい。

◎新市誕生20周年記念ひかりで祝う新市の輝き事業費

Q 市全体で祝う機運をどのように醸成するのか。

A イルミネーションライトアップ等の光の演出により、唐津はひとつという一体感の醸成を図る。

Q 記念花火の時刻についての考え方は。

A 新しい節目を祝うカウントダウンの機運を重視し、1月1日零時を設定する。

《現地調査》

・林道道太郎～蟹川線(七山白木)

・大川水路(北波多下平野)



林道道太郎～蟹川線(七山白木)

都市整備委員会

◎青木 茂 ○宮原 辰海 高倉 寛和 山浦 学 古田 リバー 筒井 紀充 吉村 慎一郎

◎唐津市都市公園の移動等円滑化のために必要な
特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の
一部を改正する条例

Q 都市公園のバリアフリー化の考え方は。

A 平成25年4月1日の本条例の施行以降、公園を整備するタイミングに合わせてバリアフリー化を随時進めている。

◎公共土木災害復旧費

Q 災害復旧工事のうち、市の単独事業については、
完成図書等の簡素化をするなど事業者の負担軽減
が必要ではないか。

A 単独事業については出来高確認の資料を提出するなど、簡素化できる旨を事業者に指示したい。

Q 事業に係る人件費及び資材高騰による影響は。

A 延長や高さによって工事の数量等を積算しているので、以前に比べて人件費や材料費が高くなり、施工できる面積自体も少なくなっている。

《現地調査》

- ・市道行合野・志気線(北波多志気)
- ・松浦河畔公園遊具広場駐車場(原)



松浦河畔公園遊具広場駐車場(原)

市民厚生委員会

◎古藤 宏治 ○黒木 初 江里 孝男 井手 清和 片峰 和也 大河内 正弘 伊藤 泰彦

◎肥前町福祉センター解体等事業費

Q 民営化の公募が成立しなかった理由は。

A 令和5・6年度に条件を緩和するなど、2回の公募を実施したが、応募に至らなかった。

Q 新しい施設にはどんな機能を持たせるのか。

A 新施設では、一般の温泉利用のほか、良質の温泉を活かした介護予防教室などの福祉サービスに加え、多目的室を配置し選挙投票所や一時避難所など地域で多用途に使えるように整備する方針。

◎障害者福祉事業国庫負担金等返還金

Q 審査は何人で、どうやって決めているのか。

A 受給資格確認、登録・喪失等のシステム入力を職員1人で実施し、チェック体制が不十分だった。

Q 今後の再発防止策は。

A 手帳交付前の資格確認、システム入力、支払事務チェックを2人で実施。年1回の所得判定も手帳情報確認を徹底する。制度解釈が困難な場合は、早い段階で関係部署に法解釈の相談等を行う。

《現地調査》

- ・グループホームすぎの子(石志)
- ・肥前町老人憩の家、福祉センター(肥前町田野)



グループホームすぎの子(石志)

一般質問

9月議会

市政のここが知りたい

9月定例会の一般質問は、9月10・11・12・16日の4日間で行われ、20名の議員が登壇しました。



市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出しています。

詳しくはQRコードから一般質問の模様をご覧ください。



新生会 岡部 高広

まちづくり支援の課題と方向性は

Q まちづくり会議の内容は。

A 構成員は、当該地域の居住者でまちづくりに関心のある者、当該地域で活動される各種団体の代表者、その他地域の推薦を受ける者。その地域で行われる地域活動をまちづくり会議の事業として取りまとめ、市に申請する。

Q 支援制度の今後の方向性は。

A 地域づくり部内での見直し検討案は、①補助金制度から地域まちづくり会議を主体とする交付金制度へ移行、②地域生活基盤の維持等に係る支援は庁内の各担当部署に支援制度を創設、③合併当初の制度を基本として、補助制限期間の5年を廃止することなどを

検討。現状の課題を解決するため、早急に総合政策部との協議に着手し、令和8年度の当初予算編成では新制度に基づくものとしたい。



チャレンジ事業(地域の環境美化)



詳しくはこちらで



志政会 宮原 辰海

自発の地域づくりについて

Q 自発の地域づくり「さが未来アシスト事業」の申し込み状況は。

A 5月の一次募集では、市内から2件の応募があり採択されたが、8月の二次募集については市内からの応募はなかった。

Q 小さな組織や地域の団体には寄り添うような支援も大事だと思うが、市の取り組みは。

A 相談を受けた際には、職員や集落支援員により助言等を行っている。

Q 地域に沸き起こる「自発の地域づくり」を推し進めていくために県と、どのように連携を取っていく考えか。

A NPO法人等、地域の各団体が計画している取り組み

を県と連携して推進していく。

Q 法で定めるNPO法人の事業報告書等の提出状況と悪質な未提出法人に対する指導監督は。

A 適切な対応を行っていく。



詳しくはこちらで



公明党 水竹 道夫
認知症予防について

Q 高齢化に伴い、認知症の方の増加が地域社会の課題と考えるが、認知症予防に関して市の取り組みは。

A 認知症基本法の方針に基づき、運動、脳トレ体操を実施しながら、バランスの良い食事、睡眠、耳の聞こえ方などについても説明し、予防に取り組んでいる。

Q 認知機能低下の要因の一つとして加齢性難聴が指摘されており、認知症予防の観点から、加齢性難聴者への補聴器の助成が必要と考えるが、市の考えは。

A 専門家等の意見を伺いながら、加齢性難聴を含めた認知症予防に対する支援を検討する中で、補聴器の助成についてその有効性等を議論していく。

◎他の質問

- ・雷対策について
- ・奨学金返還支援について



詳しくはこちらで



唐津市民党 田中 路子
市内居住者に対する金券発行について

Q 新生児に対して市内のみで使用可能な30万円分の出産祝い券を発行して欲しい。

A 現在一人につき現金5万円を支給しており、経済的支援と子育て環境の充実に尽力したい。

Q 新卒者に対して市内のみで使用可能な、住民税50%相当額を負担する新卒者サポート券を発行して欲しい。

A 新卒者の数を把握出来ず事務量が膨大になる為、実現が困難。

Q 市内全ての避難所に空調機を設置して欲しい。

A 未整備の避難所が8カ所ある為、整備が必要。

Q 喫煙所の設置をお願いして半年が経ちました。

A 慎重な判断が必要な為、設置に至っていない。

Q 曳山塗り替え費用は市からいくら出ているか。

A 割合は国:12/24 県:4/24 市:5/24 地元:3/24。



詳しくはこちらで



唐誠会 片峰 和也
唐津市の財政・債権・未回収債権について

Q 唐津市では未回収債権がどの程度発生しているのか。

A 事業の繰越に伴う国庫補助金などを除き、約273億1千万円の調定額に対し、収入未済額が約11億4千万円となっている。

Q 債権管理課を設置した目的と取り組みについて。

A 債権管理課の設置目的として、債権回収に関するノウハウの蓄積と共有、徴収困難事案の段階的な引き継ぎなど、徴収業務の事務の効率化と債権回収、安定的な財源の確保を図る。また、俯瞰的視点により徴収困難事案の整理を行うことで公正・公平な市民負担の実現

を図り、将来的な取り組みとして納付方法の統合による市民サービスの向上と事務の効率化、債権回収の推進のため、法的手続きの実施などを考えている。



詳しくはこちらで



新風唐津 甲斐田 晴子

観光文化施設の運営状況について

Q 市の文化観光施設で貸スペースのある旧村上歯科、埋門ノ館、旧大島邸の2024年度の①利用者数、②建物売上、③管理費、④収支は。

A 【旧村上歯科】①1階と2階利用者推計値約8,400人、②約73万円、③0円、④73万円 【埋門ノ館】①約3,400人、②約18万円、③約880万円、④-860万円 【旧大島邸】①約7,000人、②約123万円、③約1,890万円、④-1,780万円

Q 唐津市の公有財産の中で、最も官民連携で運営が成功し、実績を残している事例は。

A 市がまちづくり会社に土地建物を貸し出し、同社がリノベーションし運営する旧村上歯科。

Q 新唐津市民会館の運用の収支予測は。

A 支出概算額は、人件費・維持管理費など年間約1億8,600万円、収入概算額は、曳山会館入場料、ホール利用料など年間約7,300万円
(年間約1億1,300万円の赤字予測)

2024年度施設利用実績 (単位/円)

施設名	利用者	収入	管理費	収支
旧村上	8,400人	73万	0万	73万
埋門	3,400人	18万	880万	-860万
旧大島	7,100人	120万	1,900万	-1,780万



詳しくはこちらで



志政会 大西 康之

市民の安全・安心のために!!

Q 消防、防災を取り巻く状況としては、消防団員の619人減少を始めとし、消防職の業務量が増えている。消防職は特殊で、一般行政職から消防職へ、一時的に人員を増やすなど出来ない職種である。その様な中、定員管理計画では、令和7年~12年までの5年間消防職の採用は1名、年齢でみると令和15年までの8年間で1名となっている。現人員182人国の指針では248名、73%ほどの充当率である。また、類似団体と比較しても少ない現状であるが、市民の安全・安心を守れるのか。

A 出動対象箇所の増加、消防団員の減、消防署員の高齢化、共助不能地域の増加については、定員管理計画策

定時に、消防本部との協議で課題としていなかった社会情勢の変化である。この様な社会情勢の変化の中、消防本部と協議し、定員管理計画の見直しを検討する。



詳しくはこちらで



新生会 高倉 寛和

唐津市沖洋上風力発電事業について

Q 佐賀県は有望な区域への整理に向け、国に対し本年5月に情報提供されたが、どのような内容を報告されたか。国からの回答はいつごろか。

A 情報提供の主な内容は、関係漁業者や航路事業者、唐津市との調整状況、船舶航行の安全確保に関する調整など多岐にわたるもの。国においては、提出された情報をもとに、本年秋ごろを目途に判断される見通し。

Q これまで佐賀県並びに唐津市は、関係省庁に対しどのような活動をしてきたのか。今後の取組については。

A 今後も、唐津市沖洋上風力発電事業の誘致に向け、県

と連携し、関係省庁や関係団体との意見交換や協議、調整に対応するとともに、市民や関係者の皆様に対し、丁寧な説明と正確な情報発信に努める。



詳しくはこちらで



公明党 宮本悦子

長期間「使用禁止」の遊具が点在、改善を！

Q 壊れたまま長期間利用できない公園遊具が点在している。安心して利用できるよう、整備計画が必要ではないか。

A 定期点検を行い危険と判断した遊具は使用禁止とし、緊急性や使用頻度を考慮して、修繕・更新など計画的に行っている。

Q 使用禁止と貼るだけでなく、整備計画を市民に示すことで安心感が高まる。使用禁止としている31基の遊具に対し、予算をつけスピード感ある改修を要望する。また、清掃や草刈り等の維持管理対応も課題があるのでは。

A 利用者による日常管理や清掃活動などができればと考えている、HPなどで公園の利活用方法を提示し、

公園に関わる人を増やす方策がないか検討している。

◎他の質問

- ・産後ケアの支援充実について
- ・市の平和行政について



詳しくはこちらで



新生会 野田宗作

不登校について

Q 唐津市の不登校の児童生徒数は。

A 令和6年度は小学校141名、中学校212名の合計353名。

Q 現状について、市としての見解は。

A 児童生徒の状況に応じた教育、要因を的確に把握し、きめ細やかな支援が必要。別室での学習などの教育相談体制の充実や教育支援室、不登校対策支援特認校、スチューデント・サポート・フェイスの活用・連携等により、環境を整えている。

Q 不登校の児童生徒のための環境整備の取組は。

A 別室登校で、教育相談、助言、援助を業務とする学校生活支援員を常駐できる「佐賀県別室における学校生活

支援事業」の活用を検討。

Q 学びの多様化学校の設置検討は。

A 国は全ての都道府県と政令指定都市に設置を目指しており、情報収集に努める。



詳しくはこちらで



志政会 久保美樹

DXで職員改革・業務の効率化を

Q 人口減少が進む中、本市は職員数をどのように適正化し、DXで効率的な働き方を実現しようとしているか。

A 本市は人口減少を見据え、職員数の適正化と業務の効率化を進めている。電子決裁やAI議事録作成により迅速な意思決定とペーパーレス化を実現。第4次定員管理計画では、令和12年度までに職員数を1,143人から1,091人へ縮減する目標を掲げる。給付金業務など一部は既にアウトソーシングを導入し、窓口受付も「行かない・書かない・待たない」の行政サービスを目指し、DXにより少数精鋭でも質の高い行政運営を維持し、持続可能な市役所づくりを目指している。

◎他の質問

- ・高齢者の免許返納と交通弱者支援について
- ・磨き上げと発信力で進める唐津観光の発展



詳しくはこちらで



新風唐津 井手 清和

北部医療圏における周産期医療体制について

Q 佐賀県の北部医療圏とは。

A 佐賀県は医療法に基づき県内5圏域を設定し、一般的保険医療を完結できる地域として唐津市と玄海町が属する。

Q 北部医療圏の周産期医療体制を本市はどう把握しているか。

A 本市は出生数減(約630人)で民間2医院と唐津赤十字病院で対応可能とする一方、医師不足で周産期医療体制は依然厳しいと認識している。

Q 北部医療圏の厳しい現状を踏まえ、市長は周産期医療体制や地域医療の持続可能性確保に向け、どのように

リーダーシップを発揮し関係者と連携していくのか。

A 地域医療の厳しい現状を踏まえ、関係機関と連携し産科医師確保と周産期医療体制維持に全力で取り組む。



詳しくはこちらで



新風唐津 古田 リバー

新庁舎休憩室、港湾計画、ドローンについて

Q 市職員用の休憩室に関する進捗状況は。

A 7/24～8/22にかけて実施したアンケート調査では、回答935件のうち521人が昼休憩専用スペースの必要性を示した。結果を詳細に分析し、今後の取組を検討する。

Q 7月に県港湾課長から転身した中西副市長は、唐津港の港湾計画改訂に向けてどのように佐賀県へアプローチされるのか。

A 以前から早期改訂を強く要望されている峰市長のもと、自身も県への要望に尽力する。

Q 農業・観光分野で今後見込まれているドローン活用に向けた課題は。

A 農業：高齢化、人手不足、イニシャルコスト、人材育成が

課題。

観光：撮影時のプライバシー保護、墜落事故・安全管理、施設毎に異なる許可対応が課題であり、統一的な運用体制の整備が求められる。



詳しくはこちらで



公明党 筒井 紀充

「木育」と「施設の木質化」について

Q 本市の木育と木質化についての考えは。

A 教育面では木に触れる学習を実施。福祉面では国の保育指針にも合致していると認識。産業面では地域産材の利用が森林整備や林業振興につながるため木育事業を継続・推進する。

Q 学校や保育所での森林体験や木のおもちゃの導入は。

A 既に自然遊びや木材学習を実施。今後は計画的導入を検討する。

Q 学校・福祉・公共施設の木質化は。

A 地域材を活用し改修を実施。心理的安らぎやこどもの成長効果に加え、林業振興にも寄与。今後も推進する。

Q 「唐津版木育プロジェクト」への見解は。

A 壮大な取組だが重要性を認識。教育・福祉と連携し、まずは事業継続に努め発展を目指す。

◎他の質問
・高齢者の終活支援について



詳しくはこちらで



新生会 大河内 正弘

内水氾濫対策と水門の管理について

Q 近年の豪雨による内水氾濫を防ぐための対応と唐津市内に設置されている水門の重要性と課題は。

A 国・県において排水機場の設置、堤防整備、護岸整備、河道切削の実施、排水ポンプ車などの配備がある。また、本市でも排水路の整備及び出水期前のしゅんせつ、並びに排水機場の設置及び雨水調整池の整備を行っている。さらに、内水氾濫を想定したハザードマップの作成とホームページの公開を行っている。内水冠水を防ぐために設置されている93か所の水門、13か所の排水ポンプ施設は、委託された各地区の住民の方々により大雨の時など適切な運用が行われている。

今後、昨今の多雨による水量に対する対策として、他市町でも配備され始めた排水ポンプ車の導入を本市でも進めていく。



詳しくはこちらで



新生会 古賀 博文

唐津市の観光行政について

Q 唐津の観光行政の現状と課題は。

A 「食」に関するプロモーションに力を入れている。推進体制の在り方についても精査し、観光地としての高付加価値化、観光客の受け入れ環境をさらに充実させていくことが必要。

Q クルーズ船に唐津産食材の提供、売り込み、広報をしたことがあるか。

A 食材を堪能してもらうことで唐津の食の豊かさを伝えることにつながる。唐津産の食材の魅力を体感してもらう為の取り組みについて今後、協議したい。

Q 「美食のまちづくり」を目指す為にはどのような観光政

策が考えられるか。

A 地域資源を最大限に活用し、食材をより魅力的に見せることで、唐津の食を世界に誇れるものへと磨き上げ、今後もふるさと寄附金基金を効果的に活用したい。



詳しくはこちらで



志政会 中山 亘

教員不足・マリンスポーツと観光振興

Q 教員不足の現状は。

A 9月1日時点で11名の欠員。担任は確保されているが、一部で特定教科や級外が不足。

Q 不足の要因は。

A 退職増、特別支援学級拡大、産育休・病休の増加による講師不足。

Q 佐賀県教育委員会や国への改善要望は。

A 加配教員の柔軟活用や代替教員への給与加算などが制度改善として進む中、市も国・県に定数改善や学級編制緩和を要望。

Q 海辺の整備は。

県がKMAP事業で西の浜を整備。遊歩道・トイレ等の整備を要望し、賑わい創出を図る。

Q マリンスポーツの聖地化は。

A ヨット・SUP・カヤック等の大会誘致と海辺整備を連動させ、滞在型観光を推進し「聖地化」を目指す。



詳しくはこちらで



志政会 古藤 宏治

学校給食の地産地消と道路行政について

Q 学校給食において、地元食材の利用は子供達の安全安心はもとより食育の面でも非常に有効と考える。また、本市の農水産業振興にもつながると思うが地産地消の推進については。

A 今後、地産地消率の維持・向上に加え、食を通じた子供達の地域愛を育むため、特色ある学校給食の提供を引き続き検討し進める。

Q 契約栽培による食材購入については。

A 地元産食材の使用率を向上させる為にも生産者や生産団体等の情報収集に努め、実施の可能性について検討したい。

Q 「西九州自動車道サービスエリア予定地」の今後の本市の取り組みについて。

A 「西九州自動車道建設促進期成会」など関係団体と連携し、地元選出国會議員、財務省、国土交通省、NEXCO西日本に対して要望を続ける。



詳しくはこちらで



日本共産党 黒木 初

加齢性難聴者への補聴器購入助成制度を

Q 加齢性難聴の実態把握は。

A 令和6年度の介護認定調査で、対象者4,165人のうち「普通の声がやっと聞き取れる」1,112人(26.70%)「かなり大きな声なら聞き取れる」459人(11.02%)「ほとんど聞こえない」27人(38.37%)が聴力に不安を抱えているとみられる。

Q 唐津市独自での補聴器助成制度の創設は。

A 他自治体での助成制度の広がりには認識しているが、補聴器使用の医学的効果が研究段階であるため、現時点での導入は困難と判断している。令和6年9月13日閣議決定の「高齢社会対策大綱」に「加齢による難聴

等への対応」が盛り込まれたため、次期「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定時に、加齢性難聴支援や助成の有効性について、委員の専門的検知から議論していく。



詳しくはこちらで



新風唐津 松本 増浩

唐津市の特定健診について

Q 本市における特定健診の実施率が近年どのように推移しているのか。また、その数値は県平均や全国平均と比べてどの程度の水準にあるのか。

A 本市の特定健診率は、コロナの影響で一時的に下がったが徐々に回復し、令和5年度は37.3%となっている。県平均40.8%、全国平均38.2%より低い状況。

Q 他の自治体では商品券やポイント付与などのインセンティブで健診率が向上しているが、本市でも導入を検討しているのか。

A 本市では、他自治体のような商品券等のインセンティ

ブは導入していない。その代わりに、約8千円の健診費用を無料としており、毎年の受診を促している。特定健診は生活習慣病の早期発見や重症化予防につながり、健康意識の向上につながる。



詳しくはこちらで

令和6年度 唐津市

一般会計、特別会計、企業会計

の各会計の決算を認定しました！

一般会計決算

890億7,285万9千円

特別会計決算

317億7,004万8千円

企業会計決算

1,051億8,503万5千円

決算関連議案質疑

提出された17件の議案に対して各会派から10月1・2・3日の3日間、21名の議員が質疑を行いました。



詳しくはこちら

1

令和8年度末には本体工事が完了

新唐津市民会館(仮称)整備Ⅱ期事業費(継続費初年度分)

多くの市民や来訪者が集い、広く唐津の魅力を発信する文化交流拠点施設として、新市民会館及び新曳山展示場を一体的に整備する。

Q 新唐津市民会館(仮称)の建設工事費の予算計上が、令和6年6月補正となった理由は。

A 直近の著しい建設資材の高騰等に伴う設計の見直し作業に不測の日数を要し、令和5年度内での設計完了が困難となった。令和6年度に入り、設計積算作業が完了し、補正予算に計上した。

Q 今後の建設工事のスケジュールは。

A 工事期間を1年間延長し、令和8年度末の工事完了を予定している。その工期の中でも可能な限り早期の完成を目指したい。



2

森林を守り、唐津市産木材の活用を

からつの元気な森づくり事業費

唐津市森林環境基金を活用し、荒廃のおそれがある私有林等の整備を実施し、森林の持つ多面的機能の維持増進を図るとともに、新たな担い手の確保につながる取組みを推進する。

Q 唐津市森林環境基金の活用内容は。

A ① 荒廃のおそれがある私有林などの森林整備 ② 森林整備を担うべき人材の育成・確保 ③ 森林のもつ公益的な働きの普及啓発 ④ 木材利用の促進。

Q 林業経営管理事業の仕組みは。

A 「林業経営管理法」に基づき、市が森林所有者と8年間の契約を結び、森林環境譲与税を活用してその森林を整備し、管理・運営する。

Q 林業教室の実施状況は。

A 厳木・七山小学校の5年生と、厳木高校の1年生を対象に実施した。小学生には、森・川・海のつながりを学ぶ授業や整備された森林での環境学習と枝打ち体験を行った。高校生には、林業の魅力を伝え、チェーンソーによる伐採作業の見学や重機の操作体験を実施した。

Q カラモク活用推進事業のアンケート結果は。

A 「木の温かみが良い」「唐津市産木材が使われている点が良い」「割れにくく安心して使える」などの意見が寄せられた。



3

歴史民俗資料館を保存、活用へ

歴史民俗資料館保存整備事業費

老朽化により平成15年度から休館中の歴史民俗資料館(旧三菱合資会社唐津支店本館)の修理を行い、現地での保存活用を図るもの。

Q 活用について。

A 保存修理とあわせて、耐震補強や防災・空調設備を整備し、安全に公開できるようにする。
唐津の近代化を伝える資料館として、建物の魅力を生かし、市民や観光客に親しまれる施設を目指す。



4

市内全域で高速インターネット環境を実現へ

情報化基盤光ケーブル推進事業補助金

高速インターネット環境の実現と有線テレビ事業の民設民営化へ向け、民間が行う光ケーブル等整備に補助し、情報通信基盤の強化、充実を推進する。

Q どのような整備を行ったのか。

A 高速インターネット環境の実現と有線テレビ事業の民設民営化を目的に、光ファイバーケーブルの幹線網などを整備した。令和6年度は全体の約6割にあたる865キロメートルを敷設し、分岐装置約9,700台を設置した。

Q 事業の進捗状況は。

A 一部の工事が4か月ほど延びたが、順調に進んでおり、有線テレビの民営化のための切替工事は令和7年度末までに完了する予定。

Q 整備による効果は。

A 市内全域で1ギガインターネットが利用可能となり、オンライン授業やスマート農業など多様な活用が期待され、行政ネットワークの効率化にもつながる。



特集 団体さんご紹介



特定非営利活動法人

博心館



志道公民館文化発表会演劇発表



西の浜 海水浴場



座禅体験(近松寺)

博心館は、放課後の子どもたちを預かる民営の児童クラブです。
子どもたちにとって安心・安全な「第3の居場所」であることはもちろん自然体験、文化体験、農業体験、地域活動、社会見学など、多くの体験やたくさんの方との関わりを通して自己肯定感・非認知能力を伸ばし、「がんばる力、根気強さ、好奇心」を育むことを目標として活動しています。

特定非営利活動法人博心館

〒847-0013 佐賀県唐津市南城内2番10号 電話:0955-58-8230

＜開館時間＞ 平日:放課後～19:00 土曜・休校日・長期休暇:07:30～19:00
※ 下校時お迎え、習い事付添、昼食提供(有料)など、各種サービス有



Instagram



HomePage

編集後記

本号をお届けするにあたり、今年も残すところ1ヶ月を切りました。

皆様にとっては、この一年はどのような年だったでしょうか。

編集委員会では、市民の皆様にとって「より分かりやすく、読みやすい議会だより」の作成を常に心掛けています。誌面に限りがある中で、何を掲載し、それをどのように表現すれば皆様に伝わるかを、委員一同熟慮してまいりました。

今後もより良い紙面作りに努めてまいりますので、皆様からの率直なご意見、ご感想をお待ちしております。

(野田 宗作)

唐津市議会がインターネットで視聴できます

【放送する議会】

定例会および臨時会、決算・予算特別委員会

【視聴方法】

唐津市議会ホームページからご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットでも視聴可能です。

※録画配信については、会議終了後、概ね3日(土・日・祝日を除く)以内に配信を開始します。



唐津市議会中継

唐津市議会 インターネット中継

検索

「唐津市議会報」編集委員会メンバー

委員長	久保 美樹	委員	片峰 和也
副委員長	岡部 高広	委員	大河内正弘
編集長	黒木 初	委員	古田リバー
委員	野田 宗作	委員	筒井 紀充
委員	高倉 寛和		

唐津市議会だより

令和7年12月1日

第93号

◎発行:唐津市議会 ◎編集:「唐津市議会報」編集委員会

■唐津市議会事務局内 〒847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号
TEL72-9162 FAX75-1515